

中期経営計画
Change & Co-Create 2024
見直しについて

2023年4月28日
伯東株式会社

定量目標

- 事業構造改革 + エレクトロニクス事業堅調：22年度実質（為替影響控除後）連結営業利益“75億円”達成
- 当初目標：24年度連結営業利益“50億円”以上→“90億円”以上へ見直し
- 安定して連結営業利益“100億円”以上計上できる会社を目指す

全社戦略・事業戦略

- 21年4月中期経営計画公表 [全社戦略、事業戦略 踏襲](#)

事業ポートフォリオ計画

- 半導体デバイス：2年間にて投下資本約20%削減。今後、効率化 + 高付加価値ビジネス拡大
- 高収益事業の部品・機器・化学の三事業：今後 **更なる高収益** + 外部資源との連携・**ノンオーガニック成長**

DX化

- バックエンドDX：約500時間/月 **作業時間効率化**実現（デバイス中心）
- 顧客起点の価値創出実現に向けたフロントエンドのDXも、計画達成に向けて順調に対応中

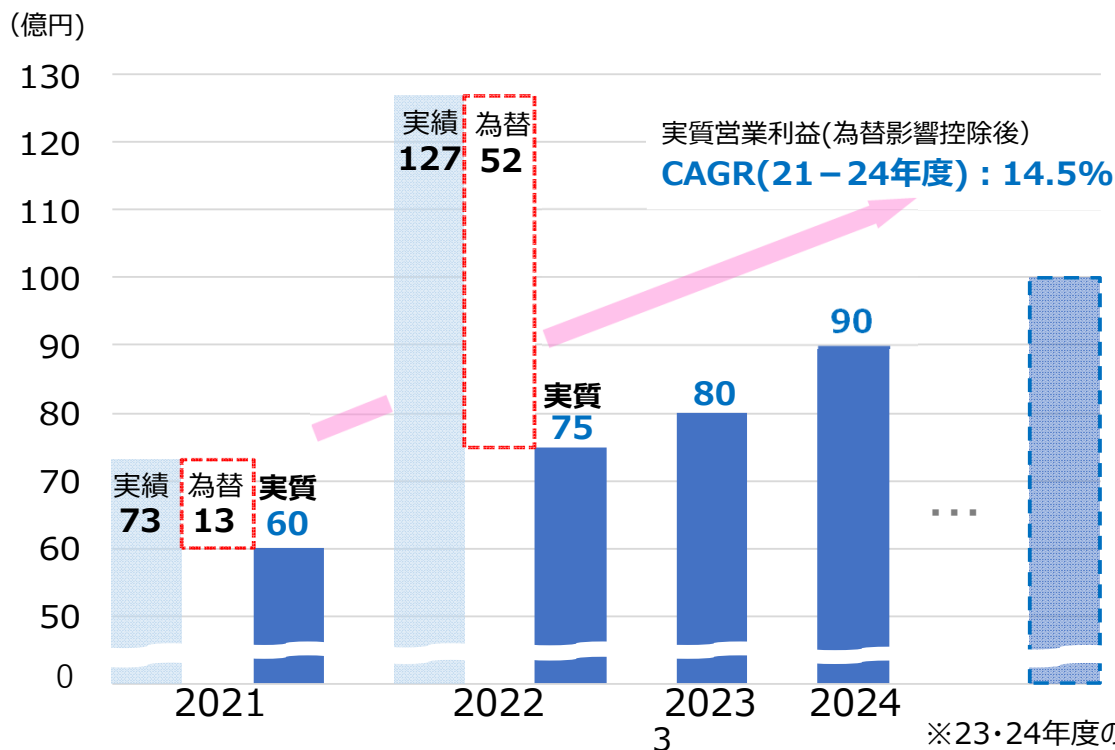
株主還元基本方針

- 配当と自己株式取得による「**総還元性向100%**」継続

2024年度 営業利益：90億円以上 (+40億円)・ROE：9.0%以上 (+3.0%)

経営指標	当初計画	見直し	(参考) 23年度予想
連結営業利益	50億円以上	90億円以上	80億円
連結営業利益率	3.0%以上	4.5%以上	4.2%
ROE	6.0%以上	9.0%以上	8.5%

● 中期経営計画期間(21~24年度) 営業利益推移



2021年4月中期経営計画公表 全社戦略・事業戦略 踏襲

【全社戦略】

1 **高収益事業**への資源の投下

2 **部門横断**による情報・技術連携による
価値創造

3 業務改革実現を加速させる**DX戦略**

4 **外部**資源との連携
(オープンイノベーション)

5 外部との協業および**M&A**

【事業戦略】

高収益ドライバー

■ 電子コンポーネント

コネクティビティ分野ターゲット+マーケティング
強化にて新規事業拡大実現

■ 電子・電気機器

自社開発製品・新製品含む
バリューチェーン拡大にて価値提供強化

■ 化学

コア技術+商社機能による新分野開拓
&ソリューション強化

業務効率化

■ 半導体デバイス

技術・提案力向上→ソリューションビジネス
への進化にて高付加価値化

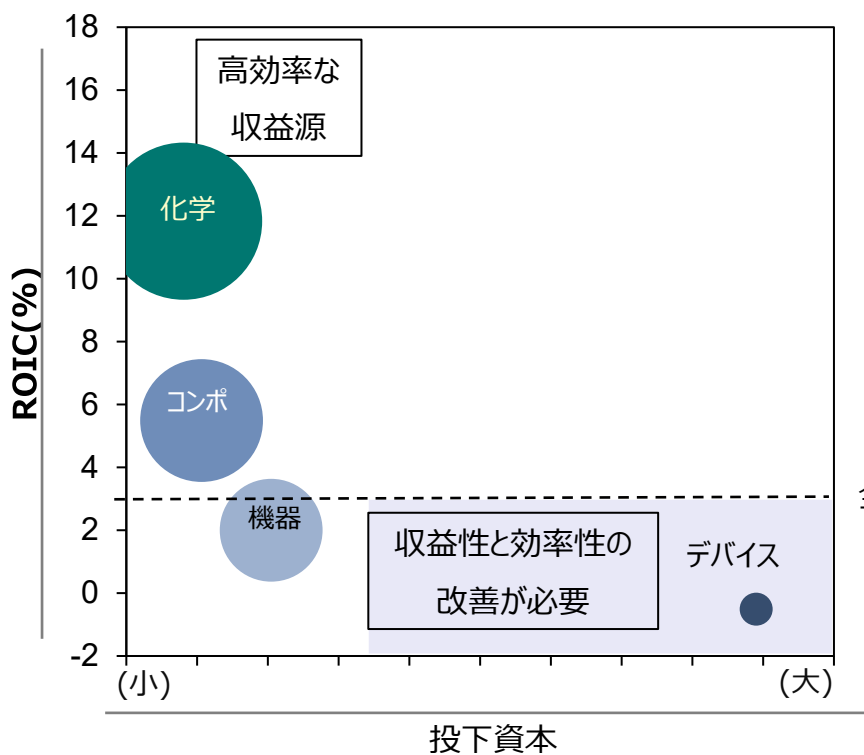
■ 海外事業

各拠点業務プロセス見直し
+エリアに応じた戦略展開

事業構造改革は各事業とも進行中。2024年度までに更なる改革を見込む

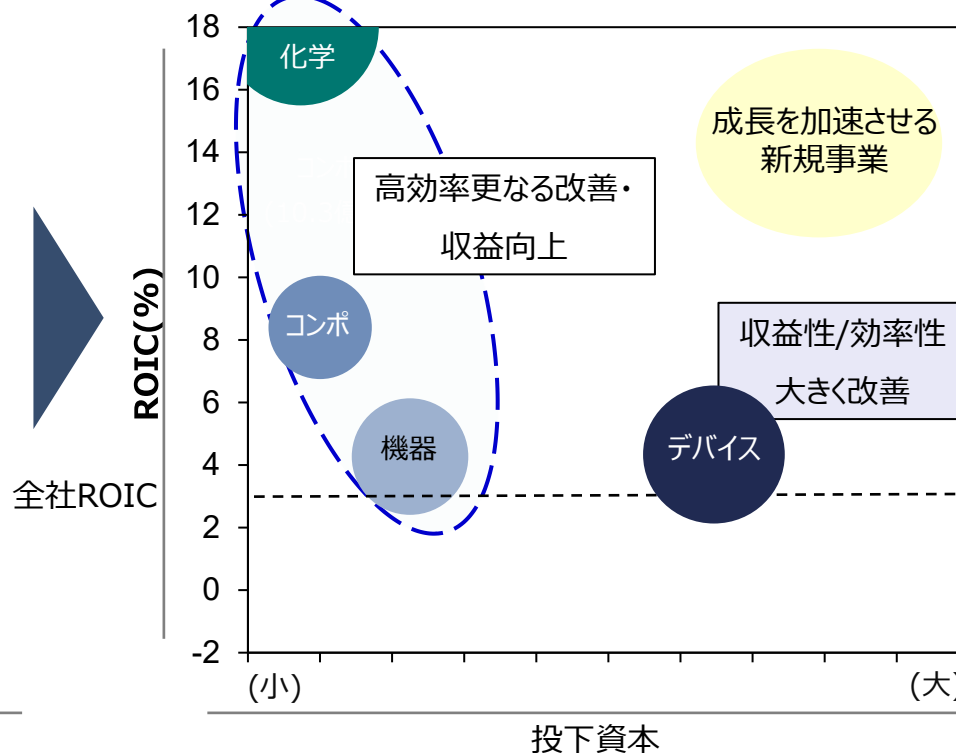
- デバイス事業：投下資本削減は順調推移→ROIC大幅改善。更なる成長目指す
- コンポ・機器・化学事業：低投下資本の下、収益向上は遂行。協業・M&A等にて新規事業創出目指す

● 事業ポートフォリオ (2019実績)



● バブルの大きさ：営業利益の大きさ

● 事業ポートフォリオ (2022実績)



※為替影響による利益押し上げは含まず

配当と自己株式取得による『総還元性向100%』継続

株主への利益還元の充実は経営上の重要な施策と位置づけ、
本計画期間中は引き続き、配当と自己株式取得により、
総還元性向100%とする

- ✓ 配当は引き続き安定配当を基本とする
- ✓ 事業成長が期待でき、高い投資効率が期待できる投資案件等があれば優先する

ありがとうございました

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。